

プロジェクト おうとう「ジュノハート」による産地力向上

目 標

・「ジュノハート」栽培面積 R4：17.0ha → R10：26.0ha

挑戦する内容

- ・高品質安定生産に向けた生産者の技術向上
- ・高品質安定生産技術の確立
- ・生産・出荷体制の強化

関係者の声
=対話

- ・気象条件によって、結実や着色が問題となり、高品質安定生産が難しい（生産者）
- ・生産者によって果実品質のバラツキが大きい（農協・市場）
- ・雨よけ被覆の設置や除去、収穫作業など労力負担が大きい（生産者）
- ・産直施設の出荷者の一部で出荷規格が守られていない（生産者、農協、市場）

役割分担

- ・生産者：高品質安定生産、出荷規格の遵守
- ・農協、市場：現地指導、上位等級品の品質検査
- ・産直施設：出荷者への出荷規格の周知・啓発
- ・産技センター：低樹高栽培などによる高品質安定生産に向けた試験研究の実施、実証ほの設置・運営
- ・県：現地指導、生育状況調査、栽培技術研修会等の開催、生産情報の発行、補助事業の実施、出荷規格等の周知・啓発

変革後の姿

- ・高品質なジュノハートが安定して生産され、上位等級品率が向上
- ・低樹高栽培による省力化が実現

令和6年度計画

挑戦する内容

- 1 高品質安定生産に向けた生産者の技術向上
 - ・「霜害防止・結実確保」、「着果・着色管理」、「適期収穫・目揃い」に係る栽培技術研修会を開催
 - ・県、農協、市場等の関係機関による園地巡回指導を実施
 - ・生育状況に応じた生産情報の発行
- 2 高品質安定生産技術の確立
 - ・結実確保、着色向上、裂果防止に関する試験研究の実施
 - ・収穫適期の判断に役立てる着色程度と糖度のデータを収集・分析
 - ・低樹高栽培（V字仕立て、パルメット仕立て）実証ほをりんご研究所県南果樹部に設置
- 3 生産・出荷体制の強化
 - ・青森県特産果樹産地育成・ブランド確立事業の活用により、低コスト簡易型ハウス、雨よけハウス、被覆資材巻上機の設置を支援
 - ・上位等級品「青森ハートビート」の均一な品質確保に向けた「品質検査員研修」を開催
 - ・産直施設出荷者等に対する出荷規格等の遵守徹底を周知・啓発



非破壊糖度計



低樹高栽培のイメージ

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・各種研修会や園地巡回指導の際に、生産者から現場の状況を聞き取り、生産指導に反映（随時）
- ・おうとう「ジュノハート」ブランド化推進協議会作業部会を開催し、生産者及び農協、市場・市町村等と生産対策及び販売PR対策について改善点を検討（5月、12月）